



物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげよう。

●感想文を書くための三つのコツ

 <p>コツ一 物語の内ようを読み取る。</p>
 <p>コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。</p>
<p>コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。</p>

④「終わり」 読んだ後の自分の考えを書こう。

- ・読んで、自分の何が、どう変わったかを書く。
- ・これからどうしたいかを書く。
- ・「初め」「中」とつながり合うように書く。

●読み返し、まちがいや、よりよくできるところを直そう。

- ・まちがった文字を直す
- ・書き落とした文字を付け加える。
- ・もつとよく伝わるように表げんをくふうする。
- ・自分の気持ちにぴったりの表げんを考える。
- ・同じ言い方ばかりにならないようにする。
- ・+「思いました」 +「考えました」
- ・書いた内ように合った題名を付ける。
- ・書きだしをくふうする。

【8 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑧・原稿用紙2 本時のねらい

構成を考え、表現を工夫して感想文を書くことができるようにする。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。
 - 感想文を書くために、「コツ二」「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。こと、

○ コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。ことを押さえる。

※ 提示物「コツ二・コツ三」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑧を配り、記名させる。

○ 本時は、「初め」「中」とつながり合うように組み立てを考えて「終わり」を書き、表現を工夫して感想文を仕上げることを知らせる。

2 感想文の「終わり」を書く。

○ 教科書五十五ページ下段の手引きを読ませ、「終わり」に書く内容を押さえる。

○ 自分のワークシート⑦「初め」「中」を読ませ、「終わり」を書かせる。

※ 書き出せない児童には、六時間目までの学習をまとめたワークシートを利用して、その中から書きたいことを想起させます。

3 推敲し、仕上げる。

○ ワークシート⑦・⑧に書いたことを基に、原稿用紙2に書かせる。

※ 題名や氏名を書く場所については、一斉指導します。（「原稿用紙の使い方」プリント参照）

※ 今回初めて感想文の書き方を学習していることとあらずじを入れていないことから、字数

は全体で四百〜八百字程度とします。

・「初め」百〜二百字程度 ・「中」二百〜四百字程度 ・「終わり」百〜二百字程度

※ 「初め」「中」「終わり」の内容が、つながるように書かせます。

○ 書いたら全体を読み返させ、推敲させる。

※ ワークシート⑧にある推敲の項目を拡大したものを提示し、確かめさせます。

※ 感想文を書くための三つのコツを使っているかについても確かめさせます。

評価 「初め」「中」とつながり合っている内容を書いている。（書イ）

感想を表す言葉を使って、表現を工夫している。（言イ（オ））

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑧で自己評価をさせる。

○ 次時は、友達と感想文を読み合い交流することを伝え、ワークシート①で確かめさせる。